

◆2022年 第3週(1月17日~23日)

今年の出張が月曜日(17日)から始まった。関西に行くために品川から乗車した新幹線車中からは、富士山の秀峰を拝むことができた。

江戸時代から富士詣があるように、日本人にとって富士山は象徴でもある。そのため、今年のように雪で覆われている富士山の全体像が見えるだけで元気が倍増する。

仕事をやりだしてから東海道新幹線だけでも5,000回以上乗車しているので、新幹線車中からの富士山を3,000回程度は拝んできたはずである。今回のように、出張初日に白峰の富士山と出会えると今日一日だけでなく今年一年が愉しみになってくる。

実は、27年前の今日も朝から愛知県へのお出張だった。朝のニュースで、関西で地震があったという情報を得ていたが、東京駅(当時は新幹線に品川駅はない)で足止めを食らう。東京—名古屋間はまもなく開通したので、そのまま三河安城にある再建先の工作機械メーカーに向かい、訪問先の大会議室でTVを見て、とんでもない大震災であったことを知ったのだ。

今年も、出張前々日(1月15日)に南太平洋のトンガ諸島沖近くでの海底火山の噴火があり、「空振」による津波が日本にも影響を与えている。なんと千年ごとに大噴火が起こっているエリアとのことで、噴煙は半径260km、高さは20kmにもなったらしい。富士山も1707年の宝永年間の爆発依頼鳴りを潜めているだけに不気味でもある。

週末の22日には日向灘を震源とする地震が発生。大分市などや宮崎県の延岡市などで震度5強を観測している。まさに今年は、こうした自然との関係性を強く意識をしなければならぬ年になるのだろう。

17日の夕刊に、漫画家の水島新司氏が82歳で亡くなっていたというニュースが発表されていた。“ドカベン”と“あぶさん”の野球漫画でお世話になり、“あぶさん”は全巻揃えていたほどの大ファンだ。

25歳前後の頃に東京・高円寺で草野球チームを作っていたが、チーム名は「あぶさん」。また、東京税理士会の野球大会が開催されていた神宮外苑の軟式野球場では、早朝ゲームをされていた水島さんの草野球チームともよく出会っていただけに、全く残念である。

木曜日(20日)の大阪での1日講演会を終えて、18時頃の新大阪発の「のぞみ号」で4日ぶりに東京に戻る。新大阪駅で購入した駅弁とビールで一人で乾杯をして、身体を休ませることとした。さすがにかなり疲れている気がする。

一日を愉しんだのか 寒夕焼 ㊦

